

# 英 語

## 1 学習指導の工夫・改善

### (1) 各教科等における探究的な学び

新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な学習を充実させることが求められている。

英語科における探究的な学びの考え方については、教科「外国語」と同様の考え方となるので、そちらを参照願う。

### (2) 教科等横断的な視点を意識した年間指導計画の作成

年間指導計画作成の際の留意事項等については、教科「外国語」を参照いただきたい。科目「エッセイライティング I」は「論理・表現 I」の内容を発展させたものとなっており、「日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする」こと、及び、「社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする」ことを目標としている。この目標を達成するために、言語能力の向上を図る観点から国語科と連携したり、地理歴史科や公民科、理科などで学習した内容や関連する話題について英語で議論したりするなど、どのように他教科等と関連付けできるかを意識した年間指導計画の作成が必要であると考えられる。

次の表は、「エッセイライティング I」の年間指導計画の例である。

教科名		英語	科目名	エッセイライティング I						
教科の目標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。								
履修学年		3	単 位 数	2						
月	単元	学習内容	評価規準	領域と観点					評価方法	関連
				L	R	I	P	W		
5	健康的な生活について	日常的な話題（老後のライフスタイル）について、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫しながら書いて伝える。	100年ライフを送るために必要なことについて、意見や主張などを書いて表現している。	本科目は、「書くこと」の活動が中心となっているため、「書くこと」の領域のみを3観点で評価する。しかし、学習内容については、「論理・表現 I」の内容を発展させたものとなっており、エッセイなどを書くだけではなく、ティベートやディスカッションについても扱うことが求められる。	○	○	○	作品 (30年後の自分に対する手紙)	★家庭 ☆保健	
	自分にとって魅力的なものについて	日常的な話題(魅力ある地域の創生)に関する考えや意見を、論理の構成や展開を工夫しながら書いて伝える。	魅力的なものをより一層魅力的にするための考えや意見を、論理の構成や展開を工夫して書いて提案している。		○	○	○	作品 (他者へ自分の考えや意見を提案)	◆継承	
6	SDGsについて	社会的な話題（SDGs）について、資料を的確に活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫しながら書いて伝える。	17の目標のうちから一つ選び、2025年までに行うべきこと及び2030年にあるべき姿について論理の構成や展開を工夫して書いて伝える。	○	○	○	発表原稿 (富裕層及び貧困層、それぞれの立場に立った目標達成方法)	◇公共		

<教科等横断の例>

- ★家庭：「超高齢社会を生きる」や「社会保障制度と社会的連帯」の学習内容
- ☆保健：「運動習慣を身に付けよう」や「労働者の健康・安全と健康問題」の学習内容
- ◆総合的な探究の時間：「じもと学」を通して身に付けた、考えるための技法やあるものの魅力を話したり書いて伝えて伝える力
- ◇公共：「国際社会と日本」の学習内容

## 2 新学習指導要領における指導と評価の計画例

### (1) エッセイライティング I の計画例

#### 単元名「How to make my favorite more favorite」

##### ア 単元の目標

自分にとって魅力的なものについて、その理由とともに文章を書いて説明することができる。また、自分にとって魅力的なものをより魅力的にする方法について、自分の意見や考えを、データを用いながら理由とともに論理性に注意して文章を書いて書いて伝えることができる。

##### イ 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報や考え、気持ちなどを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。</li> <li>・テーマについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて、読み手に伝わるように、情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを基に論理性に注意して書いて伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて、読み手に伝わるように、情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを基に論理性に注意して書いて伝えようとしている。</li> </ul>

##### ウ 指導と評価の計画（5時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	知	思	態
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相手の意見に応じて、自分の意見を理由とともに述べ合う。</li> <li>①英語で書かれた北海道の複数の地域・場所に関するパンフレットを読み、その内容を要約し、それぞれの地域・場所の優位性及び劣位性について意見を出し合う。</li> <li>②自分がよいと思う地域・場所を1つ選び、異なる地域・場所を選んだ相手とペアになり、自分が選んだ地域・場所の優位性について意見を述べ合う。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分の好きな地域・場所について考え、相手に伝える。</li> <li>【問い】 Which spot in Hokkaido do you like and why?</li> <li>①表現を豊かにするために必要な語彙、表現等を理解し、適切に活用するためのトレーニングを行う。</li> <li>②メモを活用し、ペアで考えを共有した後、4人程度のグループで発表を行い最も説得力のあったものを決定する。</li> </ul>			
<p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">総合的な探究の時間等で実施されている「じもと学」で身に付けた資質・能力が活用できるように、生徒の身近な地域を題材にした英語学習を展開していく。</p>				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分の好きな地域・場所をよりよくするための方策について考え、相手に伝える。</li> <li>【問い】 Do you expect your favorite place to be more attractive?</li> <li>①表現を豊かにするために必要な語彙、表現等を理解し、適切に活用するためのトレーニングを行う。</li> <li>②マインドマップを活用し、以下の内容について相手と話しして意見を共有し、自分の意見や考えの幅を広げる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分が好きな地域・場所」</li> <li>○「選んだ理由やより魅力的な場所とするための方策」</li> </ul> </li> </ul>			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「自分達が住む町へ訪問する外国人を増やすための方策」について、市長や外国人専門家に対して自分の意見を提案</li> </ul>	○	○	○

教科等横断

論理の構成や展開、複数の段落から成る文章を書く練習を兼ねた学習活動となるため、事前にモデルを提示するなどの支援を行う。

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見て指導に生かすことは毎時間行う。

「市長や外国人専門家への提案」というシチュエーションを提示するため、「論理的で適切な英語で表現すること」を採点基準に含んでいる。

- する。
- ① 自分の意見や主張について、理由とともに80語以上の英語で書く（PCを活用）。
  - ② 他者が書いた内容等について、クラウド上で共有する。
  - ③ 他者からのフィードバック等を活用し、各自が書いた文章を見直し、加筆や修正を行う。

実施の具体例については、「才 評価問題等」を参照すること。

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分の意見をまとめ、発表する。</li> <li>① 自分が書いた意見等について、1枚のスライド等にまとめ、ペアやグループを作り意見を述べ合う。</li> </ul>	○
---	--	---

「主体的に学習に取り組む態度」の評価の一助とするために5時間目に修正した文章を回収し、4時間目に作成した文章と比較する。ここでは、他者の意見を参考にするなどして、自分が書いた文章を読み返し、よりよいものにするための粘り強い取組を行ったかどうかを見取ることとしている。

エ 学習指導案（4時間目／5時間中）

過程	時間	生徒の学習活動	留意事項
導入		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートナーに、自分たちの学校の人気を高めるためにはどうすればよいか質問する。</li> </ul> <p>【例】</p> <p>A: (共通) If you were a principal in our school, what would you do to make our school more popular?</p> <p>B: ① <u>I would like to abolish our school uniform! We can choose whatever we like!</u></p> <p>A: ② <u>But it would cost more money to buy a lot of private cloths. I think we should send more information using SNS.</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記①、②をクラウド上の表計算ソフトに入力し、生徒同士が回答を共有する。</li> </ul>	教師はよい例をピックアップし全体で共有する。
展開		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示されたシチュエーションにおいてスピーチを行うために、80語以上の英語で制限時間内に原稿を書く。</li> </ul> <p><u>Situation</u> :</p> <p>The mayor would like to double the number of foreigners who visit or stay in our city and needs some ideas. You will be making a poster presentation in front of the mayor and some experts in tourism (some of them are English speakers) to present your ideas.</p> <p>Make the speech draft of more than 80 words.</p>	生徒は、クラウド上の表計算ソフトに入力し提出する。
まとめ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テキストマイニングの結果を確認し、他者との類似点や相違点について考えながら自身の原稿について次回の授業までに加筆・修正する。</li> </ul> <p>パフォーマンステストで提出したものと事後に修正したものを比較できるよう、異なるファイル名で保存するよう指示する。</p>	教師はテキストマイニングの結果をプロジェクタで提示、もしくは画像形式で保存しクラウド上で生徒と共有する。

オ 評価問題等 パフォーマンステスト（ライティングテスト）  
 (ア) 指示内容

The mayor would like to double the number of foreigners who visit or stay in our city and needs some ideas. You will be making a poster presentation in front of the mayor and some experts in tourism (some of them are English speakers) to present your ideas. Make the speech draft of more than 80 words.

(イ) 実施の方法

クラウド上の表計算ソフトに入力して原稿を作成し、提出する形式とする。

(ウ) 採点の基準

- 条件1 外国人に魅力を感じさせる方策について明確に示し、その具体的な理由について挙げている。
- 条件2 自らの経験や周囲の意見など、根拠を用いて自身の方策を支持することができている。
- 条件3 複数の段落から成る文章で構成されており、接続表現などを使い、論理的で説得力のある作品となるよう工夫されている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現の選択に優れており、理解しやすい英文を用いて書いている。	・三つの条件を全て満たした上で、自身の経験や具体的な情報などを効果的に示しながら書いて伝えている。	・三つの条件を全て満たした上で、自身の経験や具体的な情報などを効果的に示しながら書いて伝えようとしている。
b	・語彙や表現に一部誤りがあるが、理解に支障のない程度の英文を書いている。	・三つの条件を全て満たして書いて伝えている。	・三つの条件を全て満たして書いて伝えようとしている。
c	・「b」を満たしていない。	・「b」を満たしていない。	・「b」を満たしていない。

※本単元における主体的に学習に取り組む態度の評価については、他者の考えを積極的に取り入れているか、自身の作品を振り返り、よりよいものを完成させようとしているかなどを、後日見取り、評価に反映させることとしている。

(エ) 生徒の作品及び採点の結果の例

※各生徒の作品例には、綴りや文法等の誤り等を含む。

【生徒A】

<作品例>

条件1 — What is needed to increase the number of foreign tourists, in my opinion, is to increase the number of staff fluent in various languages.

I have heard that many staffs at tourist attractions are fluent in Chinese or Korean in order to accommodate the large number of Chinese and Korean tourists in our city. On the other hand, the number of tourists from European countries still seems to be lower than that of Asian countries. 条件2

条件3 — Therefore, I propose that the city cooperate with students studying French and German at universities to make the city more accessible to people from European countries.

<採点の結果>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	a	a
語彙や表現の選択に優れており、理解しやすい文章を書いている。	三つの条件を全て満たした上で、自身の経験や具体的な情報などを効果的に示しながら書いて伝えている。	三つの条件を全て満たした上で、自身の経験や具体的な情報などを効果的に示しながら書いて伝えようとしている。

【生徒B】

<作品例>

It is important to increase people who are good at foreign languages. 条件1

Many people from China and Korea visit our city. So there are some staffs who can speak Chinese and Korean. On the other hand, tourists from Europe is still low.

I think that the city should hire university students studying French and German to help people from Europe. 条件3 条件2

<採点の結果>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
b	b	b
語彙や表現に一部誤りがあるが、理解に支障のない程度の英文を書いている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えているが、展開部分がやや具体性に欠けている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えようとしている。

【生徒C】

<作品例>

It is important to increase people can speak foreign language. Our city can speak Chinese or Korean because many people come from Asia but Europe is still low. I think that studying French and German university student can help Europe people.

<採点の結果>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
c	c	c
綴りや文構造等の誤りや、必要な語句の不足などがあり、理解に支障がある。	三つの条件（特に、条件2「自らの経験や周囲の意見など、根拠を用いて自身の方策を支持することができている。」や条件3「複数の段落から成る文章で構成されており、接続表現などを使い、論理的で説得力のある作品となるよう工夫されている。」）を満たしていない。	三つの条件を満たして書いて伝えようとしていない。

※主体的に学習に取り組む態度の評価については、5時間目で回収した作品の取組状況を加味することで、単元末には「b→a」や「c→b」になることも考えられる。